

## もくじ

- ・ わらしべちょうじゃ

# わらしべちょうじゃ

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： ちひろ

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

むかし むかし、あるところに、  
ひとりの まずしい わかものがありました。  
あるひ わかものは、やまのなかにある  
ちいさな ほこらで、おいのりをしていました。

「かみさま、おねがいします！  
おれは びんぼうで、このところ ろくに  
めしをくってない。どうか まいにち、  
ほんのすこしでいいから、  
くいものに ありつけるように してください！」

すると その いのりが かみさまに  
とどいたのか、わかもの の みみに  
ふしぎなこえが きこえてきました。

『おまえに いいことを おしえてやろう。  
ここからの かえりみちで、いちばんさいしょに  
てにしたものを、たいせつに もって  
あるいていなさい。  
それが おまえに こううんを もたらすだろう』

それをきいた わかものは、かみさまに おれいを  
いって、おおよろこびで かえっていきました。



5

やまの ふもとまで きたとき、わかものは  
みちに とびだしていた いしにつまずいて、  
ころんでしまいました。

わかものが おきあがると、  
いつのまにか てに なにかつかんでいました。

それは いっぽんの『わらしべ』でした。

「う～ん、こんなものが、  
こううんを もたらしてくれるんか？」

わかものは くびをかしげましたが、  
それでも かみさまのことばを しんじて、  
このわらしべを たいせつに  
もってかえりました。

